

# 令和6年度（2024年度）東海市子どものいじめ問題対策連絡協議会 議事録

## 1 日時

令和6年（2024年）8月2日（金）午後3時30分から4時15分まで

## 2 場所

市役所403会議室（4階）

## 3 出席委員

花田勝重、鈴村俊二、鈴村美妃子、蟹江幹雄、坂口香織、田中潤也、蜷川允、荒井貴徳、新美勲（9人）

## 4 欠席委員

岡崎華里（1人）

## 5 職務のために出席した事務局職員

企画部長 成田佳隆、企画部次長兼財政課長 加藤浩、  
企画政策課長 中島克、同統括主任 稲葉誠博、同主事補 江端渓人  
教育部長 小島久和、教育委員会次長兼スポーツ課長 鈴木俊毅、  
学校教育課長 桜井正志、同指導主事 高橋民子

## 6 公開、非公開の別

公開

## 7 傍聴人数

0人

## 8 会議日程

- (1) 会長あいさつ
- (2) 委員自己紹介
- (3) 協議事項
  - ア 東海市のいじめの状況等について
  - イ いじめに対する東海市の取組みについて
- (4) その他

## 9 会議内容

- (1) 会長あいさつ
- (2) 委員自己紹介
  - 委員の自己紹介、職員の自己紹介
- (3) 協議事項
  - ア 東海市のいじめの状況等について
  - イ いじめに対する東海市の取組みについて
    - 事務局より資料をもとに説明
- (4) その他
  - 事務局より子どものいじめ防止等に関する取組みへの協力を依頼

協議事項における主な意見等は以下のとおり

#### ア 東海市のいじめの状況等について

---

坂口委員：

男性と女性ではいじめの質が異なる場合があると考えるが、男女比率は分かるのか。

高橋学校教育課指導主事：

男女別での集計はしていない。

蟹江委員：

中学校になると、パソコンや携帯電話を使った誹謗中傷が増えるとあるが、小学生と中学生の携帯電話の所有率は分かるのか。

桜井学校教育課長

東海市の中学生の所有率は把握していないが、全国の小中学生では、小学6年生で約5割、中学生では約8割が所有しているというデータがある。また、女性の方が1割程所有率が高い傾向にある。

高橋学校教育課指導主事：

補足として、青少年育成センターでは、「情報モラル教室」という教室を開催しており、小中学校を対象にインターネットやSNSを適切に取り扱うための知識を教えている。

#### イ いじめに対する東海市の取組について

---

新美委員：

ネットやSNS関連のいじめが増えているが、教育現場での把握は難しいのが現状である。

最近では、ネットパトロールというサービスを活用する自治体もある。

また、いじめの重大事態が発生した際、対応に不慣れな自治体のため、こども家庭庁からいじめ調査アドバイザーの運用について通知が出ている。

中島企画政策課長：

貴重な情報として頂戴する。

坂口委員：

いじめは、加害者の認識や被害者の受け取り方が様々なので、無くすことは難しいと考えている。そのため、いじめを無くすことよりも、いじめが発生した際のフォローが重要だと考えるが、本協議会はどのような目的で開催されているのか。

中島企画政策課長：

本協議会は、いじめの防止等に係る関係者の相互の連絡調整、いじめの防止等に向けた取り組み状況に関する情報共有、その他のいじめの防止等に関する施策に関することを協議する場であり、市長部局や教育委員会、委員の皆様との情報共有を主な目的としている。

鈴村委員：

人権擁護委員協議会での活動をしている中で、感じていることをお話させていただく。人権擁護委員協議会では、相談・啓発・救済を3つの柱として活動しており、小中学校や放課後こどもクラブ、こども食堂、児童館での親子の会等で人権教室を開催している。

子どもの人権SOSミニレターにおいて、相談件数は減ってきており、相談方法として、LINEでの相談が増えてきている。

SNSでのいじめに関しては、文字にすることで判断が難しくなるケースがある。例えば、「かわいくない？」という言葉は、対象がかわいくないことを示しているケースと、対象をかわいいと思うことへの共感を求めているケースがある。このようなケースでは、受け取り方によってはいじめになってしまこと、また意図的にいじめていたとしても、言い逃れができるという特徴がある。現代のいじめは言葉巧みになってきているため、より一層の注意が必要であると感じる。

また、保護者からの相談も増えてきており、いじめで悩むのは子どもだけではないことを留意していただくとともに、保護者からの相談への対応についても充実させていきたいと考えている。

坂口委員：

いじめの問題は、被害者の受け取り方も非常に重要である。子どもの受け取り方を変換できるような親子のやり取りができるように、保護者への研修や情報共有の場を作ることも重要なと考える。